

休講期間延長にあたって、文系Ⅲ類の皆さんに国語演習の課題を課すことになりました。国語演習の授業では、作文や小論文を書いたり、漢字の小テストを行う予定です。今回の課題では作文を書いてもらいます。不安な毎日が続きますが、未来に向けてしっかりと準備をしていきましょう。

【課題内容】「スポーツの楽しさ」についてあなたが考えることを400字以上600字以内(400字原稿用紙を一枚以上、一枚半以内)で述べなさい。

【用意するもの】原稿用紙

「学年別連絡」↓「講習動画・教材配布」↓(教材配布 国語)↓「文系Ⅲ類 国語演習 原稿用紙」から規定の原稿用紙を二枚印刷してください。印刷ができない場合、市販の原稿用紙(400字原稿用紙を二枚)を使用しても構いません。

【提出日・提出方法】初回授業時に提出

【原稿用紙の使い方・作文の書き方について】

原稿用紙の使い方・作文の書き方はいくつかルールがあります。まずは、そのルールを確認しましょう。

- 一、書き出しの最初は一マスをあける。
- 二、改行したら、その行の最初の一マスをあける。
- 三、「だ・である」調と「です・ます」調のどちらで書いても良いが、どちらかで統一する。
- 四、句読点(、や。)は行の初めに書かない。前の行末の文字と同じマスに書く。
- 五、文字は一マスに一字書く。(「チャレンジ」と書くとき、「チ」と「ヤ」はそれぞれ別のマスに書く。)
- 六、句読点に限らず、記号は一マスに一記号を書く。一マスに記号と文字とを同居させないように注意する。
*ただし、終わりを示すカギカッコを行頭に置かないというルールがある。そういう場合は、前の行末の文字と同じマスに終わりを示すカギカッコを書く。
- *一マスに記号と文字は基本的に同居させないが、句点(。)と終わりを示すカギカッコは、それぞれ一マスずつ用いて書いても良いし、一マスに同居させても良い。

【注意】

今回の作文において、書き始めの決まりは特にありません。読み手がひきつけられるような書き方の工夫をしてください。また、この課題は提出時に100パーセントの出来を求めているものではありません。自分なりに「スポーツの楽しさ」について考え、作文を完成させてください。ただ、カタカナや固有名詞の乱用で字数を稼ぐようなことはしないでください。課題の意味を理解し、真剣に取り組みましょう。

【メモ】必要であれば印刷して活用してください。このシートの提出は求めません。

一、あなたにとって「スポーツの楽しさ」を感じるタイミングはどんなときか。

*あなたの考えが読み手に伝わるように、「スポーツの楽しさ」を感じる状況を詳しく書いてみましょう。

二、なぜ「楽しい」と感じるのか考えて自分の考えをまとめてみましょう。

三、まとめ

*今後あなたが述べた「スポーツの楽しさ」とどのように向き合っていきたいか、今後スポーツを続けるうえで、どのようなことを意識していきたいか、など作文の「まとめ」に当たる部分を書いてみましょう。